

### 3-C-1.

## コンテナ物流の積荷固定などで使用される緩衝木材の 廃止スチールパレット化によるリターン、リユース化

＜豊田スチールセンター(株)＞

### 1. 概要

項目	内容
包装資材等削減対策	パレット、コンテナ等の輸送用具の修理、再生による長期使用 輸配送への通い容器の使用 輸送中の緩衝材、包装資材の削減 輸送中の緩衝材、包装資材の再使用 出荷伝票類の省資源化
主な対象貨物	鉄鋼製品
導入時期	2000年12月
月間取扱貨物量	3,000トン/月

### 2. 背景（実施理由、狙い、導入の経緯）

#### 1) 実施理由

- ・ 包装資材費の低減
- ・ 包装資材の廃棄処理費の削減
- ・ 荷傷みの防止
- ・ 委託元の意向
- ・ 配送先の意向
- ・ 荷役時間の短縮
- ・ 運転手の負担軽減
- ・ 人手不足の解消
- ・ 物流システム全体の見直し

#### 2) 狙い

- ・ 在庫率の削減
- ・ 輸送品質の向上(コンテナ輸送時のサビ、キズの防止)
- ・ コンテナ積み作業時間の短縮
- ・ 輸送量、作業時間の平準化とリードタイムの短縮
- ・ コスト削減

### 3. 事業内容

- ・ 在来船からコンテナ船への変更による多回納入(月1回配船→週1回配船)
- ・ 専用スチールパレットを作成しコンテナ内での他荷物との緩衝を防止した。  
※ドライコンテナを使用可能にしたことで輸送時のサビを防止
- ・ コンテナ内での木材による固定作業の廃止
- ・ 梱包資材の簡素化による、コスト削減

#### 4. 対策効果

- ・ 梱包資材(コンテナ内の固定資材等)・処理費の削減
- ・ 荷の干渉がなくなりキズの防止、木材の使用を廃止したことで結露(サビ)の防止ができた。
- ・ 固定作業の廃止による、コンテナバンニング作業時間の短縮
- ・ 平準化による在庫率の圧縮(3ヶ月→1.5ヶ月)
- ・ 梱包資材費の低減、梱包材処理費用の低減

#### 5. 課題

- ・ 鋼材(鋼板コイル、シート、線材)以外の重量物への拡大
- ・ コスト低減